

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 1 日

事業名称		やまとあけぼの学園運営費 [やまとあけぼの学園運営事業]									
予算科目	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 8	心身障害児通所施設費	事業番号	2			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	保育 課 やまとあけぼの学園 係					課長名	関田孝志				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 3				
【施策名】 障害者福祉の推進						総合計画書(ページ)	55				
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 やまとあけぼの学園に通園している児童					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ①延べ通園児数 ②実通園児数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 療育を通して児童の力を引き出し、自立へ近づけることができる。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 通園者のうち、入園したことで生活習慣が良くなったと感じた保護者数の割合					
	③ そのために何をしましたか。 発達につまずきのある就学前の児童に対し、自立を助長するために必要な指導及び訓練を実施した。 ①療育・・・通園により、自立した生活習慣の獲得や人との関係性の発展などを旨とする。 ②機能訓練・・・専門の療法士により、理学療法、作業療法、言語療法を実施する。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①療育実施日数 ②機能訓練実施回数					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	①延べ ②人	①2424 ②19	①2529 ②20	①3431 ②20					
	成果指標	②の数値	%								
	目標	②の目標値		100%	100%	100%					
目標値設定の考え方 保護者が子どもを入園させて良かったと思える施設											
	活動指標	③の数値	①日 ②回	①230日②46回	①236日②39回	①230日②41回					
3 経費	事業費(実績)		円	24,662,506	26,350,453	29,253,215	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	4,424,775	4,671,400	0					
		特定財源(国・都・他)	円	20,237,731	21,679,053	29,253,215					
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	4.5	5.0	6.0					
		所要人数(再任用)	人	2.8	2.0	1.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	37,395,000	41,900,000	49,500,000					
	職員人件費(再任用)	円	10,342,333	6,995,000	4,031,000						
事業費+人件費		円	72,399,839	75,245,453	82,784,215						
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和47年度								
	(2) 環境の変化		発達障害に関する認識が広がるとともに、幼少期からの早期療育に対する関心が高まり、児童発達支援事業所が増えている。また、療育についても日常生活に必要な指導、訓練だけでなく、将来の自立を意識して取り組んでいくことが求められている。制度面でも児童発達支援センターを各区市町村に設置する必要があり、やまとあけぼの学園の廃園と児童発達支援センターの新設が決定された。								

事業名称	やまとあけぼの学園運営費 [やまとあけぼの学園運営事業]		
担当部署・課長名	保育	課	やまとあけぼの学園 係 課長名 関田孝志

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	やまとあけぼの学園の廃園及び児童発達支援センターの開設が決まり、子ども・子育て支援施策推進担当と保育課による利用者への説明会が開催された。利用者からは事業の引継ぎに関する不安や児童発達支援センターの運営が民間事業者となることへの疑問等が寄せられたが、情報提供や説明の機会を設け、丁寧に対応していくことで理解を得ることとした。		
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ <input type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法：⑧(行事(あけぼの祭り)でボランティアだが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため) 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
7 課題	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点		
	実施している事業の性格から現状の取り組みが適切である。		
8 施策貢献状況	(1)令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)		
	<ul style="list-style-type: none"> 施設の移転等今後の運営については、引き続き担当部署により検討していく。 施設の老朽化や職員の高齢化などの課題はあるが、保護者との信頼関係の醸成に努め、良好な評価を維持していきたい。 		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。		
9 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 今後の運営について、児童発達支援センターの整備(令和6年4月開設予定)とやまとあけぼの学園の廃園が決まった。 昨年から引き続き新型コロナウイルス感染症のため、行事等の中止や縮小があったが、個別対応を増やすなどの工夫をして療育を実施した。 		
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)		
<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援センターへの事業引継ぎを計画的に進める。 引き続き保護者との信頼関係の醸成に努め、事業の引継ぎや新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、廃園まで円滑な施設運営を実施したい。 			
8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)			
施策名： 障害者福祉の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)		
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> 保護者が子どもを入園させて良かったと思える施設を目指す。 保護者の気持ちに寄り添い、専門的でありながら負担を増やさないアドバイスを行う。 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解を持つ。 		
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画の作成にあたっては、より適切な計画とするため、保護者の考えと園の考えを摺り合わせる必要がある。 子どもの将来を考える上で役立つ情報を提供する。 			